

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月24日

計画の名称	沼津市公共下水道整備事業重点計画											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	沼津市											
計画の目標	沼津市では、第四次沼津市総合計画において、市民が日常生活の中で安全・安心を実感し、将来にわたり快適に暮らせるまちづくりを進めるため、「環境にやさしく、安全・安心を実感できるまち」の実現に取り組んでいくこととしている。 このうち、環境にやさしいまちの実現に向けた取り組みとして、河川や海の水質保全のため、計画的かつ効率的に下水道を整備する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,941	A	3,941	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	下水道処理人口普及率を60.0%(H30当初)から65.4%(H34末)へ向上。 下水道処理人口普及率(%) 下水道処理人口(人)/沼津市の人口(人)×100	60%	63%	65%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠(汚水)	新設	西部処理区 汚水管渠整備(未普及解消)	汚水管 A=56ha	沼津市						1,480	-	
	A07-002	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠(汚水)	新設	狩野川左岸処理区 汚水管渠整備(未普及解消)	汚水管 A=83ha	沼津市						2,440	-	
	A07-003	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠(汚水)	-	効率的な事業実施のための計画見直し	事業計画変更	沼津市						21	-	
											小計						3,941		
											合計						3,941		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	177	160	462	561	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	177	160	462	561	
前年度からの繰越額 (d)	0	87	76	311	
支払済額 (e)	90	171	227	646	
翌年度繰越額 (f)	87	76	311	226	
うち未契約繰越額(g)	19	0	42	13	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	10.73	0	7.8	1.49	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事の入札不調のため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 沼津市公共下水道整備事業重点計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

